

## 第2回 泉大津市「これからの幼児教育」フォーラム開催！

2月10日(水)、テクスピア大阪大ホールにおいて、「保幼小の学びをつなぐ」をテーマに、第2回の泉大津市「幼児教育フォーラム」が開催されました。今回は、2年前に開催された第1回以降、泉大津市で進めてきた「就学前教育と小学校教育の接続期のカリキュラム」作成における2年間の取組みと今後の方向性について、教職員で共有することをねらいとしました。

基調講演では、国立教育政策研究所初等教育研究部総括研究官の掘越紀香氏から接続期カリキュラムの有効性や、今後進めていけばよい保幼小連携のポイントなどについて、具体的な例を挙げながらお話しいただきました。

後半のパネルディスカッションでは、保幼小体系化プログラム作成検討委員会で指導をいただいている大阪総合保育大学の瀧川光治先生をコーディネーターに、掘越先生、北野幸子先生(神戸大学大学院)、松田上條小学校長、赤坂条東幼稚園長の5名で泉大津市の取組みの現状と課題について議論を進めました。幼児期には、「聞きたい気持ち」「伝えたい気持ち」などを育てることが大切であること。そのためには、おもいっきりやりたいことに取り組める時間や場所を確保すること。小学校では、これまでから保育参観や交流をしていただいておりますが、4月からは「泉大津市スタートカリキュラム」リーフレット「小学1年生(4月～5月)」をもとに、新1年生にできることを計画・実践・確認すること(〇〇小学校版スタートカリキュラム)や就学前施設の先生方と入学後1～2か月後に意見交換をする等の取組みをお願いします。

